

# ESG部門統括メッセージ

102-14



## 花王のESG経営

花王は、中期経営計画「K25」を策定し、未来のいのちを守る会社として、「sustainability as the only path」を歩むというビジョンのもと、ESGを経営の根幹に据えた事業運営を行なっています。「最小限の資源で最大価値」(maximum with minimum)というアプローチのもと、全社あげてのESG活動を推進しています。

ESG活動の礎となっているのが、創業者から脈々と受け継がれてきた「インテグリティ」の精神です。この精神こそ、決して妥協をせず、正しい道を歩む後押しとなっています。そして、パーパスドリブンなビジネスにも通じるこの精神は、企業理念である「The Kao Way」にも根付いています。

今年、花王は4つの重点課題に向けたESGステアリングコミッティを設置し、ESGガバナンス体制を強化しました。

脱炭素ステアリングコミッティでは、2040年までにカーボンゼロ、2050年までにカーボンネガティブをめざすという花王の脱炭素目標の実現に向けた活動を加速させます。そのために、カーボンネガティブをめざして、CO<sub>2</sub>から原料を作り、製品に応用していく技術革新などに挑んでいます。プラスチック包装容器ステアリングコミッティでは循環型社会の実現に向けて、プラスチック廃棄物ゼロをめざす活動を推進していきます。また、すべての人々のこころ豊かな暮らし、そして地球の未来を守るために、人権とDEI、および化学物質管理においても、それぞれステアリングコミッティを設置しました。

「ESGよきモノづくり」の実現に向けて全社横断で、製品やブランドのデザインにESGの視点を組み込み、社会にも、事業にもポジティブな影響を与えるイノベーションを創出していきます。

## パートナーシップと人財で変化をもたらす

持続的で意義のある変化をもたらすためには、バリューチェーン全体で取り組んでいく必要があります。中でも、パーム油など、リスクの高いサプライチェーンを着実に管理することは非常に重要だと認識しています。

そのため、環境と人権の両方において、トレーサビリティの確保を重要視し、サプライヤーと共同で取り組んでいます。最近では、小規模パーム農園の支援プログラム「SMILE」

(Smallholder Inclusion for better Livelihood & Empowerment program)をビジネスパートナーと開始しました。

循環型社会の実現にも、パートナーシップが重要な鍵となります。花王は、業界内外の団体や自治体、行政などと連携し、プラスチック廃棄物の課題に対応する新しいシステムを模索・構築することで、取り組みを加速させていきます。

また、ESG活動の最大の推進力である、多様性豊かな社員たちとのエンゲージメントを続けていきます。

## 今後に向けて

花王は、世界中の人々の暮らしに寄り添う日用品そして化学品メーカーとして、ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を通じて、人と地球が共生する「Kirei Life」を実現するための活動を加速させてまいります。

真の循環型社会を実現するために、生活者が小さくても正しい選択をすることができるように、花王は、これからも研究開発力を強みに、パーパスドリブンなブランドを社会にお届けし、皆さまとともに、Kirei Lifeを創ってまいります。

取締役 常務執行役員 ESG部門統括  
デイブ・マンツ